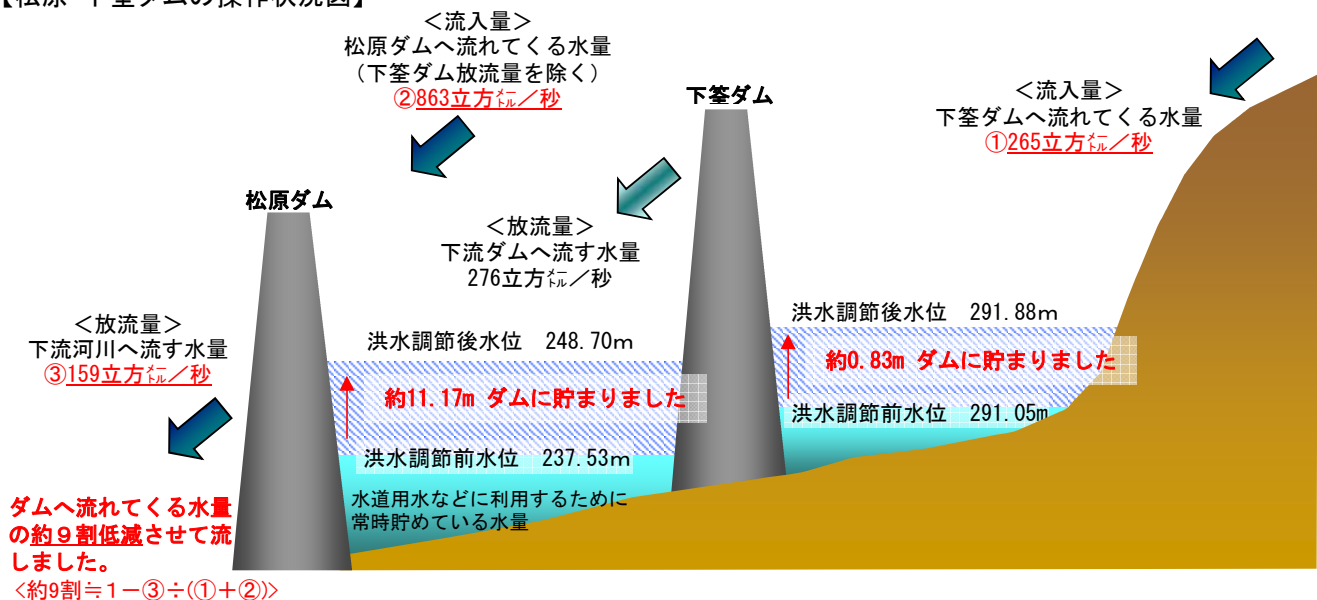


7月12日の大雨による松原・下笠ダム洪水調節の効果について

- ◆筑後川水系松原・下笠ダムの上流域において、7月12日0時から7時間で140.3mmの雨量を観測し、ダムへの最大流入量は毎秒約1128立方メートルに達しました。
- ◆松原・下笠ダムの洪水調節(ダム下流河川の増水を緩和させる操作)
松原・下笠ダムへ流れてくる水量の一部(約1000万立方メートル)を松原・下笠ダムへ貯め、ダム下流へ流す水量を最大で約9割(毎秒約969立方メートル)低減しました。
- ◆松原・下笠ダムの洪水調節の効果
この操作により、ダム下流の小淵水位観測所地点においては、今回の大雨による河川の最高水位を、約0.38メートル低下させる効果があったものと推測されます。
- ◆今後も梅雨前線に伴う降雨が予想されますので、防災体制を継続します。

【松原・下笠ダムの操作状況図】



【松原・下笠ダムの効果】

